

# 倶知安町人口ビジョン（概要版）

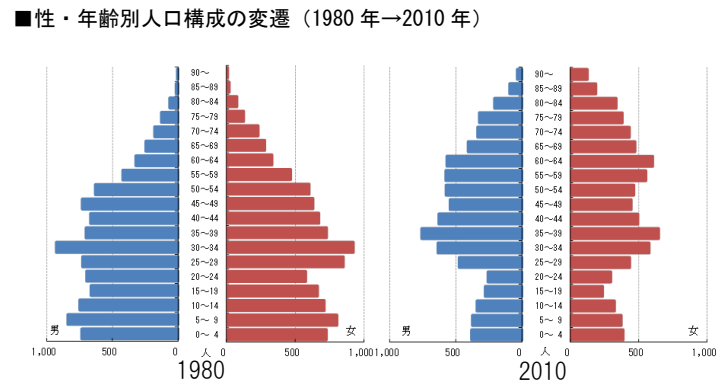
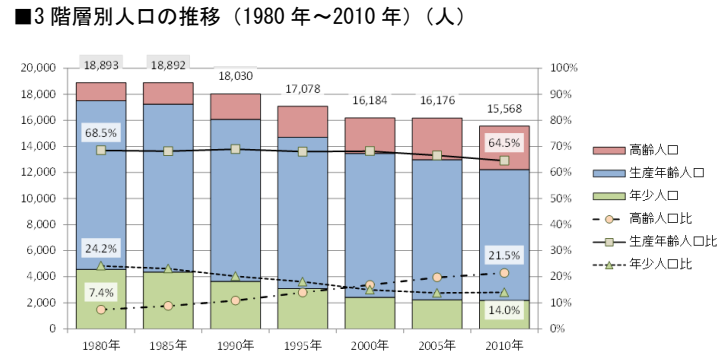
## これまでの人口の推移（1980年～2010年）

倶知安町の総人口は、1980年から2010年までの30年間で3,325人減少しました。5年ごとの減少率は平均▲2.9%、年率で▲0.6%でした。

1980年はいわゆる団塊の世代が30歳代で、その子世代（団塊ジュニア）も5～9歳を中心に多くなっていました。

一方、2010年では、35歳から39歳が男女ともにすべての世代の中で最も多い年齢層となっているのに対し、24歳以下の世代が極端に少ない形になっています。

30年後の2040年、50年後の2060年に、どのように少子高齢化を乗り越え、バランスのとれた人口構成を目指すのかが問われています。



## 人口の将来展望（2010年～2060年）

### 【人口の将来展望】

倶知安町人口ビジョンは、人口減少の緩和を目指す取り組みや、今後想定される外部要因の変化等を考慮し、2040年時点で15,329人、2060年時点で13,992人となることを目標とします。

### 【自然増減について】

倶知安町のさまざまな施策と人口対策の効果が十分実現すれば、若い世代の結婚が促進され、出産・子育てしやすい環境となり、出生率が2040年には人口置換水準である2.07へ上昇すると想定しています。

### 【社会増減について】

#### ①外国籍住民の増加

「世界に誇る国際リゾート」を目指す本町において、外国籍住民は今後も増加すると予想しています。

#### ②高速交通ネットワークの整備

北海道新幹線倶知安駅の開業（2030年度予定）と高速道路「倶知安余市道路」及び倶知安インターチェンジ整備の実現により、後志周辺地域における交通と観光のハブ都市化が進むと予想しています。

### 【外国籍住民の人口推移について】

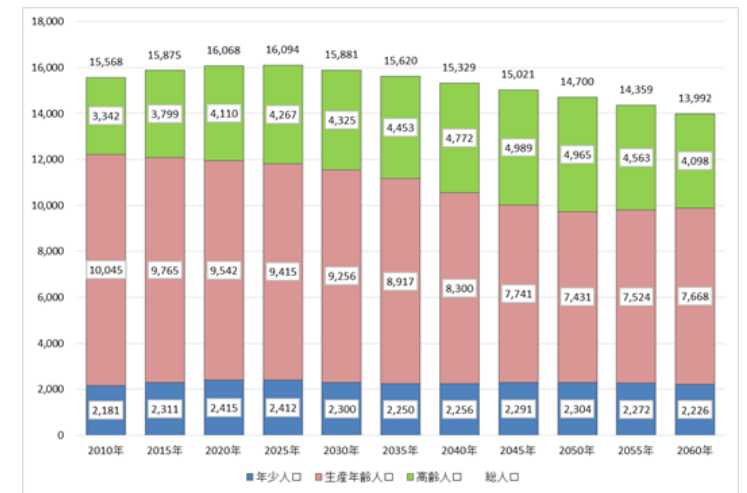
日本人のみの人口に加え、外国籍住民数が1,000人程度になると想定し、倶知安町の総人口が、2040年時点で15,329人、2060年時点で13,992人となることを目標とします。

### ■人口の将来展望（2010年～2060年）

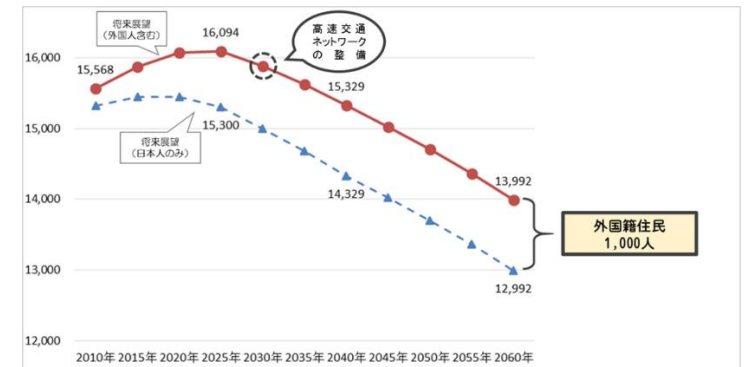


※2015年については国勢調査結果が未確定のため、策定時の展望値として推計した数字

### ■年齢3区分別人口の推移（2010年～2060年）



### ■外国籍住民の人口推移（目標）



## 「倶知安町人口ビジョン」が示す取り組みの方向性

### ①豊富な地域資源を活用した、多様な地域社会の形成

人口減少・少子高齢社会を迎える中、活力あるまちであり続けるため、住民が将来にわたって安全・安心で暮らしやすいまちを実現するとともに、地域の玄関口となる北海道新幹線の開通など直面する課題に真正面から取り組み、恵まれた自然環境などを活用し、多くの観光客が訪れる「世界に誇れる国際リゾート」へと発展させる。

### ②若い世代の仕事・雇用、子育て、教育を支援する社会環境の整備

人口減少を緩和し、将来にわたり安定した人口を維持していくため、日本人のみならず外国人も含めた転入者を増加させ、転出者を抑制するとともに、切れ目のない支援により、住民が安心して働き、若者が希望通り結婚し、妊娠、出産、子育てができる社会環境を実現することで、「このまちに住み続けたい」と思えるまちづくりを進める。